

吹奏楽部定期演奏会挨拶(5月4日、5日)

本日は、福島県立磐城高等学校吹奏楽部定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

「春風や 闘志いだきて 丘に立つ」という高浜虚子の俳句があります。5月の定期演奏会を迎え、吹奏楽部の皆さんに送る俳句であります。

その大意は「暖かい春の風が吹いているよ。その季節の中で、やがて迎える熱い夏の日々を越え、集大成としての秋の実りに向かって、強い闘志を抱きつつ私はアリオスの舞台の上に立っている。」とでも訳しましょうか。この定期演奏会において、今年目標をもう一度確認し、その日々に向かって進もうとする志を示していると思います。

磐城高校定期演奏会は、本年度で記念すべき第30回を数えることとなりました。綿々と輝かしい歴史を重ねてきた磐高サウンドの誇りが、今年もまた引き継がれていくのであります。

そして、年々の思いは、かつての様々な諸先輩方の取り組みの上に成り立ち、その音にはやがて迎える全国大会への歩みの記憶とつながっております。それもひとえに、地域の皆様をはじめとする各方面の方々のご支援の賜物と心から感謝申し上げる次第であります。

本校吹奏楽部は、昨年10月21日に名古屋国際会議場で開催されました第66回全日本吹奏楽コンクールにおいて銀賞を受賞し、吹奏楽部の伝統にふさわしい成果を得ることができました。

また、本年2月9日に仙台市泉文化創造センターホールで開催されました第46回全日本アンサンブルコンテスト東北大会において、サクソフォン六重奏・クラリネット八重奏・フルート四重奏で金賞を獲得し、さらには、3月21日に札幌市サッポロコンサートホールで行われました第42回全日本アンサンブルコンテストにおいてサクソフォン六重奏が銀賞を獲得し、歴史に新たな輝きを加えたところであります。

このような本校吹奏楽部の活躍は、部員たちが一致団結して、各パートごとに情熱を傾けて取り組み、指導者とともに総合的なハーモニーを形作りだしていった日頃の練習の成果であります。

また、その活動を背後から支えていただいている保護者の皆様の手厚いご支援やご理解ご協力のおかげであります。ここに改めて御礼申し上げます。

さて、今回も、5月4日、5日の両日に渡って、昨年の成果の披露や磐城高校独自のプログラムをご用意いたしました。吹奏楽部の生徒一同は、新入生のメンバーも加えて、心を込めて演奏させていただきますので、皆様には楽しいひとときをお過ごしいただければ幸いです。

最後になりますが、本年度の定期演奏会の開催にあたり、ご支援・ご協力を賜りましたいわき市をはじめとする関係機関や関係者の皆様方に重ねて御礼申し上げますとともに、今後とも本校吹奏楽部が変わらぬご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。どうぞよろしく願いいたします。

